

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23204	栄養教育実習 Nutrition education practice	早瀬 須美子	専門	1	必修	1年後期

科目の概要

食生活の改善を通して健康の保持増進および生活習慣病予防等に向けた提案ができ、人々の生活の質(QOL)の向上に貢献できるようにするため、この科目では栄養教育で学んだ知識や技術を実践することを目的とする。グループワークが中心の授業で、栄養教育の対象者を具体的に想定して、それに見合った教育の展開法、教材の作成、実際の栄養教室開催まで行う。こうした実習をとおして、ライフステージや疾病等に対応した栄養教育プログラムの作成・実施・評価など、栄養教育プログラムの展開についての技術を修得する。この教科は栄養士学外実習に向けた課題研究や産学連携事業への取り組みとも関連する。

学修内容	到達目標
①対象者に対応した栄養教育が実践できる知識・技術理解する。	①対象者(集団)の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、効果的な栄養教育を実施できる。
②栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画作成の方法を理解する。	②栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を作成することができる。
③対象者に適した教材選択、作成方法を身に付ける。	③対象者適した教材選択、作成を行うことができる。
④対象者に分かりやすい教育の実践方法を理解する。	④対象者に分かりやすい教育の実践を行うことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ア. 栄養教育に関する知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。 イ. 栄養教育技術の修得のために自ら指導法を想定し練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	ア. 対象者に適した栄養教育の手順や方法を考え、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	ア. 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	ア. 決められた時間内に効果的な栄養教育を実施することができる。 イ. 計画通り進まない時は、計画を見直し修正できる。
	創造力	ア. 物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	ア. 栄養教育計画に従って、対象者に寄り添った教育内容となるよう、解りやすい教育の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理された教育を実施することができる。 イ. 教育の方法を工夫して栄養教育が実施できる。
	傾聴力	ア. 対象者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	ア. 自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 イ. 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト「フローチャートで学ぶ栄養教育論実習」橘ゆかり・森美奈子編著「建帛社」「2,376円」(栄養教育で使用)
「Nブックス 栄養指導論」相川りゑ子編著「建帛社」「2,376円」(栄養教育で使用)
参考文献授業の中で適宜資料を配布(文献・新聞記事等)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連 栄養学、食品学、栄養教育 関連する資格 栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・買い物は自分自身で積極的に出かけ、食品(表示含む)全般について常に興味をもつようにするとよい。 ・国民栄養の現状や食生活の問題点及び食環境について積極的に興味をもつようにするとよい。 ・新聞等の健康関連記事については、切り取り等をしてノートにまとめる習慣をもつようにするとよい。 ・授業で身につける知識をもとに、自分自身の食生活がバランスのとれた状況で維持・継続されるように最大限の努力をし、知識だけでなく、実践力を身につけるように日々努力することを心がけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席により課題提出ができない場合は、別にレポート提出が必要となります。 ・携帯電話は必ずカバンの中にしまっておいてください。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	10	①	✓	小テストの点数を平均して評価する。 小テスト①授業内容を理解できているか確認する。 小テスト②栄養教育の流れを説明できるかを確認する。
		②	✓	
		③		
		④		
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	判定栄養教育内容を総合して評価する。またプレゼンテーション能力も合わせて評価する 教育内容は以下5項目を重視する。 1.栄養アセスメントから、適切に課題を捉えていること。 2.対象者適した栄養教育計画であること。 3.効果的な展開で進行ができていないこと。 4.対象者の反応、理解度をくみ取り、わかりやすく教育実施できていること。 5.対象者にあった栄養教育の媒体が作成され、効果的に使用できていること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
作品	40	①		判定教育媒体の完成度を評価する。 作品①グループ内は同判定 作品②個人ごとに判定 1.分かりやすい 2.対象者に合わせた工夫がされている 3.創造力が駆使されている 以上3項目についてクラス発表時にクラス全員で評価表により得点化、作品の学生評価点とし、さらに教員の評価点を加味して作品の総合評価点とする。 提出期限発表翌週の月曜日2限終了後
		②		
		③	✓	
		④		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性) 栄養教育に関する知識について、教科書・文献等を使用した自己学修の実施度、 栄養教育の実践に向けた努力度を評価する。 (実行力) 対象者に適した栄養教育の手順や方法を積極的に考え、提案できるかを評価する。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができるかを評価する。 (計画力) 栄養教育計画や資料等のレポートを、期日、時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて進めることができるかを評価する。 (創造力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができるかを評価する。 (発信力) ポイントを整理し、工夫して発表、支援をすることができるかを評価する。 (傾聴力) 話を聞く姿勢を評価するとともに、人の意見を確認し、自分の意見を述べるができるかを評価する。 (規律性) 講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するよう、集団のルールを守ることができるかを評価する。
		②		
		③		
		④		
その他		①		・2/3以上の授業に出席し、レポートを提出した学生のみ評価の対象とする。ただし、授業に出席することは当たり前のことなので、出席点は加味しない。
		②		
		③		
総合評価割合	100			小テスト、成果発表、作品及び授業態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS(秀)</p> <p>総合評価点 90点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者(集団)の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法をしっかりと理解し、効果的な栄養教育を計画どおり実施できる。 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を効果的に作成することができる。 対象者適した教材選択、作成を効果的に行うことができる。 対象者に分かりやすい教育の実践を効果的に行うことができる <p>到達レベルA(優)</p> <p>総合評価点 80点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者(集団)の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法をほぼ理解し、効果的な栄養教育を計画どおりほぼ実施できる。 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画をほぼ効果的に作成することができる。 対象者適した教材選択、作成をほぼ効果的に行うことができる 対象者に分かりやすい教育の実践をほぼ効果的に行うことができる。 	<p>到達レベルB(良)</p> <p>総合評価点 70点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者(集団)の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、栄養教育を計画どおりほぼ実施できる。 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を効果的に作成することができる。 対象者適した教材選択、作成を効果的に行うことができる。 対象者に分かりやすい教育の実践を効果的に行うことができる。 <p>到達レベルC(可)</p> <p>総合評価点 60点以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者(集団)の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、栄養教育を計画どおり実施できる。 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を作成することができる。 対象者適した教材選択、作成を行うことができる。 対象者に分かりやすい教育の実践を行うことができる。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 栄養教育実践①-1 ・食育について学ぶ。 ・幼児の特性(発育・発達、身体的生理的特性等)について学ぶ。	講義 小テスト①	・食育について理解できる。 ・幼児の特性について理解できる。	(予習) 食育について教科書等で(予習)しておく。 (復習) 小テストの(復習)、授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	栄養教育実践①-2-1 幼児の栄養教育の展開案を作成する。 ・食生活の課題を検討する。 ・テーマの検討・決定を行う ・栄養教育の展開について検討する。 ・グループ案の発表を行う。	小テスト解説 グループワーク 発表 (立案・作成はグループ単位)	・幼児の食生活の課題を把握できる。 ・テーマに沿った展開を立案できる。	(予習) 幼児の特性を理解し、食生活での改善点を調べ、まとめておく。 (復習) 他班の意見を参考に、班の支援計画の修正を行い、展開案を作成しておく(グループ)。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	栄養教育実践①-2-1 幼児の栄養教育展開を決定する ・教室の展開の決定 ・媒体の検討 ・シナリオの検討・作成	前回授業のポイント解説 グループワーク演習 (立案・作成はグループ単位)	・効果的な媒体を選択・作成できる。	(予習) 資料収集(各自)。 (復習) 媒体の作成	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	栄養教育実践①-2-2 栄養教育教室の準備を行う。 ・媒体の制作	前回授業のポイント解説 演習 (立案・作成はグループ単位)	・効果的な媒体を選択・作成できる。	(予習) 資料収集。 (復習) 媒体の作成	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	栄養教育実践①-2-3 栄養教育教室の準備を行う。 ・媒体の制作	前回授業のポイント解説 演習 (立案・作成はグループ単位)	・効果的な媒体を選択・作成できる。	(予習) 媒体の作成 (復習) 媒体の作成	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	栄養教育実践①-2-4 栄養教育教室の準備を行う。 ・媒体の制作 ・栄養教室シナリオ作成	前回授業のポイント解説 演習 (立案・作成はグループ単位)	・効果的な媒体を選択・作成できる。 ・効果的な展開ができる。	(予習) 媒体の作成 (復習) シナリオの確認、栄養教室実施の練習	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	栄養教育実践①-2-5 ・栄養教室実施の中間発表(各班の栄養教室の発表、評価、表によるクラス評価、改善案の提示)	前回授業のポイント解説 中間発表 (グループ単位)	・教室展開が効果的であるか評価できる。	(予習) シナリオの確認、栄養教室実施の練習 (復習) 展開案、シナリオ、媒体の修正	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	栄養教育実践①-2-6 栄養教育教室の準備を行う。 ・展開案、シナリオ、媒体の修正	前回授業のポイント解説 演習 (作成はグループ単位)	・教室展開が効果的であるか評価できる。	(予習) 栄養教室実施の練習 (復習) 展開案、シナリオ、媒体の修正	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	栄養教育実践①-3 栄養教育教室の開催 ・グループ単位で作成した 栄養教室の内容を組み合わせ、一般の幼児を対象とした「食育教室」を開催する。	先回授業のポイント解説 発表会 (クラス全員)	・栄養教室の内容を理解している。 ・上手く対象者に伝えることができる。 ・教室の評価・改善案を提案することができる。	(予習) 栄養教室実施の練習 (復習) 展開案、シナリオ、媒体の評価。改善案の提案をまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	栄養教育実践①-4 栄養教育教室の評価を行う ・展開案、シナリオ、媒体の評価 ・改善案まとめ	先回授業のポイント解説 グループワーク (作成はグループ単位)	・栄養教室の評価ができる。 ・改善点を理解し、修正できる。	(予習) 展開案、シナリオ、媒体の評価。改善案の提案をまとめる。(復習) 展開案、シナリオ、媒体の修正し完成させる。 →作品提出(グループ)①	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	栄養教育実践②-1 栄養教育の対象を選定し、対象に即した教育法を立案する ・テーマの検討 ・資料収集	先回授業のポイント解説 講義 演習 (立案・作成は各個人)	・栄養教育の対象者をアセスメントから選定できる。 ・必要な資料を収集できる。	(予習) 国民健康・栄養調査から、支援が必要な年代とその理由についてまとめる。 (復習) 対象とした年代の資料を収集し、教育すべきテーマの基礎資料を作成する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	栄養教育実践②-2-1 グループ内で各自が作成した教育テーマ、展開案を発表し、評価し、各自で展開案の改善、媒体の作成を行う。 ・テーマの検討・決定 ・栄養教育の展開の検討 ・教育案、媒体作成	先回授業のポイント解説 グループワーク 演習 (立案・作成は各個人)	・効果的な教養教育の展開を構築できる。 ・効果的な媒体を作成できる。	(予習) テーマ、展開案について発表できるように準備する。 (復習) グループワークで得た意見等を踏まえ、教育内容を修正し、展開・および媒体案を作成する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	栄養教育実践②-2-2 各自で栄養教育実施の準備を行う。 ・栄養教育の展開案の作成 ・媒体作成	先回授業のポイント解説 演習 (立案・作成は各個人)	・効果的な教養教育の展開を構築できる。 ・効果的な媒体を作成できる。	(予習) 教育案、媒体の作成。 (復習) 教育案、媒体の作成。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	栄養教育実践②-3-1 各自が作成した栄養教育の発表(個人)	先回授業のポイント解説 発表 (クラス全員で評価)	・効果的な教養教育の展開ができる。 ・他者の栄養教育案の評価が適切にでき、良い点を自身の案に取り入れることができる。	(予習) 自身が作成した栄養教育の実施について、発表できるように準備する。 (復習) 他者の評価を参考に、自身の展開案、シナリオ、媒体の評価・改善し完成させる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	栄養教育実践②-3-1 各自が作成した栄養教育の発表(個人) ・栄養教育のまとめ ・小テスト	先回授業のポイント解説 発表 (クラス全員で評価) 講義 小テスト② 小テスト解説	効果的な教養教育の展開ができる。 ・他者の栄養教育案の評価が適切にでき、良い点を自身の案に取り入れることができる。 ・栄養教育の基本的・効果的な展開等を理解している。	(予習) 自身が作成した栄養教育の実施について、発表できるように準備する。半期の(復習)をしておく。 (復習) 授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。 →作品提出(各自)②	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力